

い わ み ざ わ

# 市議会だより

No. 107 2016.5.1 平成28年第1回臨時会と第1回定例会の内容をお伝えします。

市議会ホームページは⇒

岩見沢市議会

検索

## 主な内容

審議結果	2
代表質問	4
一般質問	8
予算審査特別委員会	9
議会中継を開始	10



2月20日、岩見沢市生涯学習センターで、岩見沢市議会フォーラム“元気UP岩見沢！”を開催しました。三つの常任委員会からの報告の後、来場者との意見交換を行い、数多くのご意見等をいただきました。

## 平成28年第1回臨時会（2月12日／会期1日）

市民生活に支障をきたす大雪に迅速かつ的確に対応するため、  
除排雪事業に1億2千万円を追加

議案番号	件名	審議結果
議案第1号	平成27年度岩見沢市一般会計補正予算について（第6号）	原案可決

## 平成28年第1回定例会（3月1日～3月22日／会期22日）

## 平成28年度一般会計予算など50案件について審議しました。

議案番号	件名	審議結果
議案第2号	岩見沢市消費者センターの組織及び運営等に関する条例の設定について	原案可決
議案第3号	岩見沢市職員の退職管理に関する条例の設定について	原案可決
議案第4号	地方公務員法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	原案可決
議案第5号	介護保険法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	原案可決
議案第6号	岩見沢市情報公開条例等の一部改正について	原案可決
議案第7号	岩見沢市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	岩見沢市手数料条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	岩見沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	岩見沢市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	岩見沢市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	岩見沢市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	岩見沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	岩見沢市証紙条例の廃止について	原案可決
議案第15号	岩見沢市公設小売センター条例の廃止について	原案可決
議案第16号	岩見沢市北村農業資料館条例の廃止について	原案可決
議案第17号	新市建設計画の変更について	原案可決
議案第18号	岩見沢市過疎地域自立促進市町村計画の策定について	原案可決
議案第19号	岩見沢市精肉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第20号	平成28年度岩見沢市一般会計予算について	原案可決
議案第21号	平成28年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について	原案可決
議案第22号	平成28年度岩見沢市特別会計と畜場費予算について	原案可決
議案第23号	平成28年度岩見沢市特別会計公共用地等造成費予算について	原案可決
議案第24号	平成28年度岩見沢市特別会計公設卸売市場費予算について	原案可決

議案番号	件名	審議結果
議案第25号	平成28年度岩見沢市特別会計高等学校費予算について	原案可決
議案第26号	平成28年度岩見沢市特別会計企業用地造成費予算について	原案可決
議案第27号	平成28年度岩見沢市特別会計農業集落排水事業費予算について	原案可決
議案第28号	平成28年度岩見沢市特別会計介護保険費予算について	原案可決
議案第29号	平成28年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について	原案可決
議案第30号	平成28年度岩見沢市病院事業会計予算について	原案可決
議案第31号	平成28年度岩見沢市水道事業会計予算について	原案可決
議案第32号	平成28年度岩見沢市下水道事業会計予算について	原案可決
議案第33号	一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第34号	岩見沢市過疎地域自立促進市町村計画の変更について	原案可決
議案第35号	財産の取得について	原案可決
議案第36号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
議案第37号	平成27年度岩見沢市一般会計補正予算について(第7号)	原案可決
議案第38号	平成27年度岩見沢市特別会計国民健康保険費補正予算について(第2号)	原案可決
議案第39号	平成27年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算について(第1号)	原案可決
議案第40号	平成27年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について(第2号)	原案可決
議案第41号	平成27年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費補正予算について(第1号)	原案可決
議案第42号	平成27年度岩見沢市病院事業会計補正予算について(第1号)	原案可決
議案第43号	平成27年度岩見沢市下水道事業会計補正予算について(第2号)	原案可決
議案第44号	監査委員の選任について	同意 (村上 勝則)
議案第45号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意 (林 浩三)
議案第46号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意 (鈴木 道明)
議案第47号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意 (木村 聡)
意見書案第1号	地方公会計の整備促進について	原案可決
意見書案第2号	貸し切りバス事業への「規制緩和」見直しと運転手の労働条件改善について	原案可決
意見書案第3号	陸上自衛隊岩見沢駐屯地の改編(定員削減)について	原案可決
決議案第1号	閉会中の所管事務調査について	原案可決

➤ 第1回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置について
- 宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議について
- 日本国憲法の尊重・擁護について





## 試される時代の地方自治体

**Q** 選ばれるための岩見沢はどのようなまちと考えるのか。

**市長** 市民の皆様に見沢市を住み続けたいまちと思っていたけど、何が何より重要と考えると、このまちのよさの実感、満足感、誇りや愛着を高めたい。そのため、まちのさまざまな魅力、強みや優位性を磨き上げていくことがほかのまちとの競争であり差別化戦略だと考えている。

子どもたちにとつて選ばれるまちにつながるものと考えている。あわせて企業や団体等の皆様からも事業活動を営みたいまちとして定着、選んでいただく取り組みも重要であると考えていることから、今後は、住み続けたいという施策と選ばれたらという施策の双方を複層的に一層推進していく。

平成28年度は、総合戦略の具体的な施策の展開として、全道的に高いレベルにある子ども・子育て支援策をさらに拡充し、結婚、出産、子育ての希望をかなえるサポート体制の充実を図るとともに、今後のまちづくり戦略の柱として考えている。誰もが明るく生きがいを持ち、快適で健康に暮らせる健康コミュニケーションの構築、地域特性であるICT環境を最大限活用した人材育成やビジネス環境などの多様な取り組み、新規就農・農業後継者育成支援事業の拡充、地域経済の好循環拡大に向けた創業支援事業の創設、観光振興戦略の具体的な実践、移住・定住促進事業の本格的な実施、当市の魅力やブランド力を効果的に発信するためのシティプロモーションの調査、検討などに取り組んでいく。

多くの皆様に住むなら岩見沢、住み続けるなら岩見沢と言っていただけ。誰もが住みたいと思えるまちづくりを市民の皆様とともに考え、つくり上げていきたい。

今後入学した生徒が部活動で活躍し、全道、全国大会などに出場する、希望する進路先に進むことができる、充実した学校生活を送ることができるなど、満足度の高い教育を提供することが重要と考えている。

また、情報コミュニケーション科については、情報処理に関する専門的知識の習得や簿記を初め就職に有利な各種資格の取得など進路実現に向けた学習指導の充実を図っていく。

これらの特徴を生かしながら、文武両道の精神のもとスポーツや芸術、文化などの部活動にも積極的に取り組むとともに、課題研究を初めさまざまな地域行事に参加するなど、時代と地域の要請に応える幅広い人材の輩出を目指し、意欲的に学ぶことができる、活力と特色ある学校づくりをより一層進めていく。

## 緑陵高等学校の学校づくりについて

## 代表質問

**Q** ①スポーツ総合コースの出願状況の分析について。②スポーツ総合コースを含め、どのような学校づくりを進めていくのか。

### 教育長

①出願状況については、募集人員40名のところ、当初の出願者数が20名で0.5倍、その後出願変更、再出願で5名ふえ、最終出願者数25名で0.6倍となった。

定員に満たなかった要因は、予想される出願者数や合格可能な学力等の情報が少ないことや、学校生活、卒業後の進路先などに関する不安感が出るに踏み切れなかった一因となったのではないかと考えている。

今後入学した生徒が部活動で活躍し、全道、全国大会などに出場する、希望する進路先に進むことができる、充実した学校生活を送ることができるなど、満足度の高い教育を提供することが重要と考えている。

また、情報コミュニケーション科については、情報処理に関する専門的知識の習得や簿記を初め就職に有利な各種資格の取得など進路実現に向けた学習指導の充実を図っていく。

これらの特徴を生かしながら、文武両道の精神のもとスポーツや芸術、文化などの部活動にも積極的に取り組むとともに、課題研究を初めさまざまな地域行事に参加するなど、時代と地域の要請に応える幅広い人材の輩出を目指し、意欲的に学ぶことができる、活力と特色ある学校づくりをより一層進めていく。



政和会  
谷口 洋一 議員

## 市政運営について

率化と迅速な対応のため  
に予算を重点配分し取り  
組んできた。

また、子ども・子育て支  
援として、生まれる前か  
ら切れ目のない、安心し  
て子育てできる環境づく  
りを念頭に、各種支援策  
の実施や子どもと子育て  
に関する施設、機能を集  
約した拠点施設、ことも・  
子育てひろば「えみふる」  
の整備も行った。

また、地域特性の高度  
情報通信基盤により、教  
育や医療、農業、除排雪の  
分野におけるICTの利  
活用を推進してきており、  
特に、ICT農業は、全国  
的にも高い評価を得てい  
る。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

## 市民参画市政について

Q これからの新たな市  
民参画市政の推進につい  
て。

A これからの新たな市  
民参画市政の推進につい  
ては、まちづくり基本  
条例において、まちづく  
りの仕組みやルールを明  
確にし、市民、議会、市長  
等がそれぞれの役割と責  
務を果たしながら情報を  
共有し、まちづくりに参  
加する機会の充実に努  
め、協働して地域の課題  
に取り組み、将来にわた  
って持続できる自立した  
地域社会を実現する、市  
民主体による自主自立の  
まちづくりを推進してい  
くことを規定している。

現在、これからのまち  
づくりについて、まちづ  
くり基本条例推進委員会  
で、条例の基本的事項に  
ついてご意見をいただき  
こととしており、その委  
員会の構成に当たって  
は、幅広くご意見がいた  
だけるよう、10名の委員  
のうち5名を女性とし、  
年齢層も20代から70代ま

## 代表質問

Q 3年余りの市政を顧  
みて、市長自身の率直な  
思いは。

市長 一例を挙げて振

り返ると、就任して3日  
目に南利根別川が溢水す  
るという記録的な大雨に  
見舞われ、市政の基本は  
市民の皆様の安全・安心の  
確保であると改めて強く  
認識し、北海道の支援を  
得て河川改修に着手して  
いるほか、市民気象情報  
の提供、防災対策室の新  
設、中小河川ハザードマ  
ップの発行、空き家条例  
の施行、緊急告知FMラ  
ジオの普及促進、市民参  
加の防災訓練の実施など  
に加え、冬の暮らしを守  
るため、全庁的な本部体  
制を構築し、除排雪の効

また、子ども・子育て支  
援として、生まれる前か  
ら切れ目のない、安心し  
て子育てできる環境づく  
りを念頭に、各種支援策  
の実施や子どもと子育て  
に関する施設、機能を集  
約した拠点施設、ことも・  
子育てひろば「えみふる」  
の整備も行った。

また、地域特性の高度  
情報通信基盤により、教  
育や医療、農業、除排雪の  
分野におけるICTの利  
活用を推進してきており、  
特に、ICT農業は、全国  
的にも高い評価を得てい  
る。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

さらに、健康寿命の延  
伸のために、北海道大学  
医学部が中心の産学官連  
携プロジェクト、COI  
事業に自治体として唯一  
参画し、健康づくりを推  
進しており、今後は、市民  
一人一人が健康に関心を  
持ち、守る健康からつく  
る健康、みずから健康  
管理するライフスタイル  
への転換を目指し、産学  
官一体で市民の健康を支

また、子ども・子育て支  
援として、生まれる前か  
ら切れ目のない、安心し  
て子育てできる環境づく  
りを念頭に、各種支援策  
の実施や子どもと子育て  
に関する施設、機能を集  
約した拠点施設、ことも・  
子育てひろば「えみふる」  
の整備も行った。

また、地域特性の高度  
情報通信基盤により、教  
育や医療、農業、除排雪の  
分野におけるICTの利  
活用を推進してきており、  
特に、ICT農業は、全国  
的にも高い評価を得てい  
る。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、子ども・子育て支  
援として、生まれる前か  
ら切れ目のない、安心し  
て子育てできる環境づく  
りを念頭に、各種支援策  
の実施や子どもと子育て  
に関する施設、機能を集  
約した拠点施設、ことも・  
子育てひろば「えみふる」  
の整備も行った。

また、地域特性の高度  
情報通信基盤により、教  
育や医療、農業、除排雪の  
分野におけるICTの利  
活用を推進してきており、  
特に、ICT農業は、全国  
的にも高い評価を得てい  
る。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。

また、地域コミュニティ  
活動の中心となる町会  
に対する支援について  
は、地域が自主的に考え、  
地域が主体となった積極  
的な地域活動ができるよ  
うに、より自由度が高い  
財政的支援の見直しの検  
討を現在内部で進めてい  
るところである。



## 人材育成及び 職員人事評価制度について

## 女性活躍推進法について

## 代表質問

**Q** ①人材育成方針の内容は。②人事評価制度の内容は。

**市長** ①岩見沢市人材

育成基本方針は、求められる職員像を明確にし、育成方針を示すことにより職員自身の意識改革や意欲の向上を図るとともに、計画的な人材育成と主体的な能力開発を進めることを目的として、平成24年3月に策定をしたものである。

基本方針では、職員が目指すべき職員像を市民に信頼され親しまれる職員、目標の実現に向け果敢に行動する意欲の高い職員、専門的知識、経験等を備えた時代に即応した職員として、職員全員

がその職員像に向かい取り組みを進めるよう、採用や人事配置に関する人事制度、職員研修、働きやすい環境づくりについて定めており、平成26年度からは意欲のある職員

を遂行するに当たり発揮した能力、上げた業績、業績を上げるまでのプロセスとしての態度を評価基準、設定された目標に照らし、絶対評価により行うこととしている。

に対する学習環境の支援を目的とした自主研修グループの養成に積極的に取り組んだ結果、接遇マニユアルの研究など、4グループが立ち上がり、平成27年度においても3グループがそれぞれのテーマについて意を同じくする仲間と一緒に研究、研修を進めているところ

である。②平成27年4月からは管理職以上、10月からは全職員を対象に人事評価制度の試行を開始している。評価項目は業績評価、能力評価、態度評価の3区分とし、評価はその職務

を遂行するに当たり発揮した能力、上げた業績、業績を上げるまでのプロセスとしての態度を評価基準、設定された目標に照らし、絶対評価により行うこととしている。

人事評価制度では面談など、上司と部下のコミュニケーションを通じて期待される行動や果たすべき役割を明らかにし、目標を意識して職務に取り組むことにより、職務を通じた能力の発揮、伸長を目指す。また、評価の自己申告や評価結果の開示、期末面談を通じ、み

**Q** ①「行動計画」の策定にどう反映されているのか。②女性の潜在的な力をどのように発揮させていくのか。

**市長** ①国の第4次男女共同参画基本計画にお

いて、2020年までに市町村職員の各役職段階に占める女性の割合が示され、本庁課長相当職を20%、本庁部次長職を10%程度とする成果目標が掲げられている。当市における平成27年4月1日現在の行政職の女性管理職の割合は約7.1%となっている。

男女の性別に関係なく職務に対する能力や意欲の適正な評価によることを基本とし、女性管理職の割合が高まるように状況の把握と分析結果を踏まえた上で事業主行動計画の中で数値目標や取り

組み内容等を反映させてまいりたい。

②当市でも女性の活躍を推進するため、女性の知識習得を目的としたステップアップ講座を平成20年度より開催している。

初年度は14名と定員を下回っていたが、年々参加者がふえ、今年度は募集定員を上回る32名の参加申し込みがあり、講義の関心度が高まり、女性の社会参加の意識向上が図られてきているものと考

えている。しかし、若い世代の参加が少ないことから若い方々が参加しやすい取り組みや各世代でのリーダーの育成支援を継続して行い、より充実した講座となるよういわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議と引き続きしっかりと連携を図ってまい

たい。女性の地位向上については、当市における審議会等の状況を見ると、平成24年度では委員総数における女性の比率は20%だったが、平成27年度は22.3%に上昇をしている。

また、市内における一例として、町会連合会では平成24年度の女性の役員比率が19.0%であったのに対し、平成27年度は20.7%となっている。市内の団体においても女性の活躍の推進が進んできてお

り、今後も引き続き、審議会等の委員選出に当たっては設置目的や審議内容を踏まえ、積極的に女性の登用に努めてまいりたいと考えている。





日本共産党議員団  
上田 久司 議員

## 除排雪について

庁体制による総合的な雪対策により、冬期間における市民生活の安全と安心の確保に努めてきた。

この冬については年末までの小雪から一転して、1月は平年並み、2月は平年の1.4倍の降雪に見舞われるなど、厳しい状況が続いたが、市民の皆様のご理解、ご協力と事業者の努力のもと、円滑に除排雪作業が進められ、路線バスの運休もな

く無事に乗り切ることができた。また、間口への置き雪対策については、道路除雪の際、間口に大きな塊

を置かないよう、あるいは左右でなるべく均等になるよう除雪業者に配慮を求めているところではあるが、置き雪を完全に解消することは物理的にも時間的にも不可能である。

高齢者など除雪弱者に対する間口除雪等の支援では、従来から町会が主体となった地域除排雪活動支援として取り組んでいたが、高齢化の進行に伴う対象世帯の増加、あるいは担い手不足などさまざまな課題がある

と聞いている。課題の解決に向け、地域のさまざまな資源の活用方法などを含め、引き続き市の各部署が横断、連携した総合的雪対策会議において、研究、検討を進めてまいりたい。



弱者等除雪調査支援活動

## 子ども・子育ての支援について

「えみふる」の無料化について。

営いたしたい。

さらに、遊び場の特色を生かしたさまざまなイベントを実施するとともに、ボランティアの方々にもご協力いただきながら、利用者の皆様が満足いただけるよう努力してまいりたいので、ご理解をいただきたいと思っております。

「えみふる」の無料化は、約1000冊の絵本や紙芝居、種類の積み木などの玩具をそろえた「ころころひろば」とクラ イミングやボルダリング、トランポリンなどの大型遊具を備えた「はらっぱひろば」からなり、子どもの興味や関心に合わせたさまざまな遊びを体験できる大型施設である。

再質問 子どもの健やかな成長を願う施設として、教育委員会が本来に応援しているんだということで、無料化を再検討いただきたい。

あそびの広場には冒険や挑戦の要素を取り入れた遊具を配置しており、子どもの年齢や体力、使い方によつては危険と思われる場面が想定される。そのため、常時6名から9名のスタッフを配置し、遊び方の指導や安全管理に努めながら、楽しく利用できるように運

営いたしたい。さらに、遊び場の特色を生かしたさまざまなイベントを実施するとともに、ボランティアの方々にもご協力いただきながら、利用者の皆様が満足いただけるよう努力してまいりたいので、ご理解をいただきたいと思っております。

施設、そういう環境があるということがとても大事であると思っ

## 代表質問

施設、そういう環境があるということがとても大事であると思っ



3月20日にオープンしたあそびの広場



日本共産党議員団  
山田 靖廣 議員

緑が丘霊園・共同埋葬墓所建設  
について

Q ①建設計画の進捗状況は。②利用条件等の市民への説明は。③道内他自治体の状況は。

市長 ①当初、平成30年度の供用開始を予定していたが、前倒しをして平成29年10月から供用開始できるよう整備を進めているところである。なお、造成する共同埋葬墓所、3000体を予定しているが、全ての遺骨を混合して1カ所に埋葬する方式を予定している。

②建設費用や利用条件など、他市の状況も踏まえながら、平成28年度中に条例改正など必要な手続を経て、市民の皆様への説明、周知を行ってまいりたい。

③道内では9市において共同埋葬墓所を供用しており、今後、岩見沢市を含む3市が整備を予定している。

なお、他市の利用条件等は、納骨者または亡くなった方本人が市民であるなど、それぞれの市にゆかりのある方を対象としている。また、その利用状況については、当初の見込みよりも多くの利用者があり、その中でも墓じまいの方が多く伺っている。岩見沢市としてもこのような状況を踏まえ、利用条件等の検討を行っていく。

再質問 ①市民にわかりやすい説明をしていたかどうか。②料金設定はどのようにお考えか。

市長 ①平成28年度中に条例改正の手続を経た

上で周知に入っていますが、当然わかりやすい文書でお知らせする。  
②建設費用など、いろいろなことを勘案しながら、他市の状況を参考にし、料金設定をしたいと考えている。



共同埋葬墓所建設予定地

代表質問

1 市民クラブ 篠原 藤雄 議員

- ① 市政運営の基本
- ② 財政
- ③ 福祉行政
- ④ 岩見沢農業における今後の基本的考え方
- ⑤ 教育行政

3 公明党 齊須 正友 議員

- ① 本市の人材育成及び職員人事評価制度
- ② 女性活躍推進法
- ③ 電力の小売り自由化
- ④ 市役所改革
- ⑤ 学校教育の推進

2 政和会 谷口 洋一 議員

- ① 市政運営
- ② 市民参画市政
- ③ 地方分権改革
- ④ 道州制
- ⑤ 行政改革と人材育成
- ⑥ 福祉行政
- ⑦ 経済対策
- ⑧ 教育行政

4 日本共産党議員団 上田 久司 議員

- ① 市民の安全・安心な暮らし
- ② 市民の健康な暮らしと子ども・子育て支援
- ③ 地域産業・経済の活性化
- ④ 市民とともに築くまちづくり
- ⑤ 教育行政

一般質問

1 山田 靖廣 議員（日本共産党議員団）

- ① 緑が丘霊園・共同埋葬墓所建設
- ② 電力小売り自由化への市の対応
- ③ 雪対策
- ④ 公職選挙法改正





# 予算審査特別委員会

## 平成28年度の予算が決まりました。

一般会計及び特別会計国民健康保険費、病院事業など全13会計の28年度予算案を含む31議案の審査のため、予算審査特別委員会が設置され、5日間にわたる審査が行われました。

その結果、すべての議案について可決すべきものとされ、本会議において、503億円の一般会計予算を含む、総額95億7千万円の平成28年度予算が原案のとおり可決されました。

予算審査特別委員会における主な質疑の内容を紹介いたします。

### 駅前通整備事業

**Q** ①岩見沢の表玄関として相ふさわしい街並み景観についてどのようにお考えか。

**A** ①街並みや建物の整備方針を定めたまちづくり要領や地区計画、条例などにより、市の玄関口としてふさわしい街並み形成に向けて、建物の用途や意匠、看板、広告物等に関する誘導や規制を行っている。計画区域内における建物の新築・増築等の届け出の際には、市だけではなく、地元組織である「岩見沢駅前通りまちづくり会議」の中の運営委員会とも連携を図りながら審査を

行っている。また、北海道が整備を行う歩道や照明灯などのデザイン等については、既にまちづくり会議に具体的な整備案が示されており協議が進められている。

②更地となっている旧駅前ビルの跡地の活用については、民間事業者が開発を進めることを基本として、市内の金融機関からご紹介いただき、1年半前から大手デイベロッパーによる調整のもと、市も協力しながら具体的な規模、施設内容、土地の利用形態などについて、さまざまな整備計画案を検討・協議してきたところである。現在も、地権者を含めて協議を重ねているが、現段階でお示しできる状況には至っていない。

②更地となっている旧駅前ビルの跡地の活用については、民間事業者が開発を進めることを基本として、市内の金融機関からご紹介いただき、1年半前から大手デイベロッパーによる調整のもと、市も協力しながら具体的な規模、施設内容、土地の利用形態などについて、さまざまな整備計画案を検討・協議してきたところである。現在も、地権者を含めて協議を重ねているが、現段階でお示しできる状況には至っていない。

### 街路灯維持支援事業

**Q** 電気料の節減だけではなく、明るさも増し、防犯上も効果があり大変有意義な事業であることから、より積極的なPRに努め、町会からの要望に対し柔軟に対応すべきと考えが。

**A** 現在行っている補助率7割への引き上げ期間は平成29年度までとしているので、引き続き制度の周知と説明、省エネ化への啓発を行い、要望に対しては、これまで同様、100%対応するよう予算措置を行い支援することとしている。

### 市民参画・協働のまちづくり推進事業

**Q** まちづくり交付金事業について、より柔軟に対処すべきと考えが。

**A** 地域の活動を対象としている「まちづくり交付金」と「わがまちづくり支援事業」について、これまでは別々であった市の窓口をわかりやすいように一本化した。今後においては、これらの事業の統合等も視野に入れ、地域コミュニティ活動の中心となる町会に対する支援について、

より主体的な活動ができる自由度の高い支援となるよう、手続きの簡素化や対象事業の拡大などの見直し作業を進めており、新年度には、町会連合会との協議を行う予定としている。

### 市町村合併に伴う地方交付税

**Q** 合併後10年間の合併算定替の制度に基づく交付税措置の状況と今後の見直しについて。

**A** 当市における合併算定替による影響額は、10年間で約17億円となった。平成28年度以降は、激変緩和措置により合併算定替による交付税が段階的に縮減されていくが、国では、合併時に想定されていなかった財政需要を交付税の算定に反映するという見直しがされ、当初、5年間の激変緩和期間における交付税の減額を約34億円と見込んでいたが、半減され17億円程度に抑制される見直しとなり、中長期財政計画の見直しにおいても、これを見込んでいるところである。

今後5年間の普通交付税の見直しとしては、平成28年度予算では、133億円を見込み、翌年度以降はおおむね120億円台後半で推

移するものと見込んでいる。

### 合併特例債

**Q** 現時点での合併特例債の発行残額と新年度以降の活用計画は。

**A** 当市の場合、発行限度額は約26億円となっている。発行実績は、平成27年度までに、新ごみ処分場や生涯学習センターの建設など、総額で約115億円、平成28年度には、消防庁舎や学校給食共同調理所の整備などに23億円を見込み、平成28年度末時点では、約138億円の発行を予定し、残額は約88億円となる。この残額のうち、平成28年度時点で事業に着手している事業の平成29年度以降の継続分として約44億円を見込み、残り44億円についても、今後、財政状況がさらに厳しくなっていくことを踏まえ、後年度の負担を十分に考慮した上で、市民生活の質の向上のために必要な事業の実施に当たっては、発行可能額を最大限に活用し、将来負担を軽減していきたい。



# 自宅からでも 議会傍聴

岩見沢市議会では、市民に見える開かれた議会を目指し、6月開催の定例会からインターネットを利用した議会中継を始めます。

## 本会議の

# インターネット中継を開始します！

## 平成28年第2回定例会（6月開催）から始めます！

市議会の定例会及び臨時会における本会議のインターネットの動画共有サービスを利用した生中継及び録画中継を行います。



### 視聴するには

市議会のホームページ

(<http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/index.php/contents/item/1509184>)

から「市議会インターネット中継」をクリックすると、インターネット中継のページへ進みます。

### 生中継を視聴する場合

「岩見沢市議会 USTREAM チャンネル」



クリック

### 録画中継を視聴する場合

「岩見沢市議会 YouTube チャンネル」



クリック



### 注意！

現在、インターネット中継の準備を進めております。準備が整い次第、ホームページを更新いたします。

視聴の際は、ホームページ内の『免責事項』を必ずご確認ください。

## 議会を傍聴してみませんか！

本会議と委員会はどなたでも傍聴することができます。

会議当日に傍聴席入口にて、傍聴人受付票に住所・氏名等をご記入いただければ、傍聴することができます。

団体で傍聴される方は、席の確保の都合上、あらかじめ議会事務局までご連絡をお願いします。

議会事務局 TEL 23 - 4111 (内線 462・463)

## 傍聴者アンケートを実施しました

市議会では、昨年9月開催の定例会から、より良い議会活動を行うために、本会議を傍聴いただいた皆様からのご意見を頂戴いたしたくアンケートを実施しています。

お寄せいただいたご意見の一部をご紹介します。

- もう少し審議の中身が伝わるような工夫が必要では。
- 議会傍聴の呼びかけ方法について検討が必要では。
- 市議会の活動が、もう少し市民に伝わるような工夫が必要では。
- 町会館などで市政について語る機会を設けては。

## 編集後記

先日は、多くの市民の皆様方に市議会フォーラム「元気UP岩見沢！」へお越しくださいまして、誠にありがとうございました。今回のフォーラムでは、前回より市民の皆様方との意見交換の時間を多く確保し、多くの意見交換をさせていただきました。頂戴いたしました意見を真摯に受け止めながら、今後の議会活動に取り組んでいきたいと思っております。

また、6月より議会のインターネット配信が実現する運びとなりました。このことにより、議場に足を運ばずに、パソコンや携帯電話を通してより簡易的に議会を傍聴することができそうです。ぜひ多くの市民の皆様方に傍聴していただきたいと思っております。

岩見沢市議会広報広聴委員会  
副委員長 大和 勝